

日本ITU協会 研究会開催一覧 (2023年4月～6月)

ITU-R研究会	テーマ	概要	講師
第401回 2023年4月25日	HAPSによる38GHz帯の無線通信システム開発及び成層圏下層からの電波伝搬測定	<p>高高度プラットフォーム (High-Altitude Platform Station : HAPS) による高速大容量な通信エリア化の実現に向けて、広帯域な38GHz帯を利用した無線通信システムの研究開発及び上空からの38GHz帯電波伝搬の実証実験を進めております。</p> <p>本講演の前半では、HAPSの具体的なユースケースや衛星との比較について説明した後、2022年10月に世界で初めて成功した成層圏下層からの38GHz帯電波伝搬測定について報告します。</p> <p>また後半では、研究開発を進めているHAPSの38GHz帯無線通信システムについて、計画している実証試験や降雨減衰補償技術について紹介します。</p>	<p>スカパー JSAT株式会社 宇宙事業部 新領域事業本部 NTN事業部第2チーム 北之園 展氏</p> <p>株式会社NTTドコモ 6G-IOWN推進部 小原 日向氏 外園 悠貴氏</p>
第402回 2023年5月26日	リモートセンシングによる環境計測技術の研究開発動向とその活用事例	<p>センシングは、Society 5.0で考えられているCPS (Cyber Physical System) において、フィジカル空間からサイバー空間への情報の取込み口として重要な役割を担っています。</p> <p>情報通信研究機構 (NICT) では、このセンシングの一環として、電磁波を用いたリモートセンシング技術の研究開発を行っています。上空も含めた3次元の降水の状況を時空間的に高密度に観測するマルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダー (MP-PAWR) は、5分から10分先の降水予測も含めた現況把握が可能な次世代の気象レーダーです。</p> <p>MP-PAWRに代表されるような地上設置型センサによる水蒸気・風・雲・降水観測技術、航空機搭載センサによる地表面観測技術、衛星搭載センサによる雲・降水観測技術など、主に環境計測を目的とした各種レーダー・ライダーの研究開発とその活用事例について紹介します。</p>	<p>国立研究開発法人 情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁波伝搬研究センター リモートセンシング研究室 川村 誠治氏</p>

ITU-T研究会	テーマ	概要	講師
第562回 2023年6月23日	音声通話品質基準 E-modelに関する最新動向及び関連する国内標準の紹介	<p>国内のIP電話における音声通話品質基準については、ITU-T SG12が取り組んできたプランニングモデルであるE-modelが用いられてきました。音声コーデックや伝送技術の高度化に合わせ、E-modelの拡張に関する検討がSG12の中で現在まで継続して進められています。</p> <p>本講演では、E-modelに関するこれまでの検討事項及び最新の改定内容について紹介するとともに、通話品質基準及び国内標準との関連性について紹介します。</p>	<p>日本電信電話株式会社 ネットワークサービスシステム 研究所 恵木 則次氏</p>

情報通信研究会	テーマ	概要	講師
第119回 2023年4月18日	日本郵便の将来におけるラストワンマイル実現に向けた先端技術活用の取組み	<p>電子化・デジタル化が進むことによる郵便物の減少や、少子高齢化による人口減及び労働生産人口の減少が進んでいく中で、日本全国津々浦々へのラストワンマイルの配達ネットワークをどのように維持・確保していくかは、日本郵便株式会社における重要な課題です。</p> <p>本講演では、日本郵便が構築している現在のラストワンマイルの配達ネットワーク網における、テレマティクス技術やAI技術を活用した近年の取組みに加え、中長期的なラストワンマイルの手段の一つとして期待しているドローン・配送ロボット等について、近年の法整備の状況を含め、日本郵便の新たな取組みと今後の展望について紹介します。</p>	<p>日本郵便株式会社 郵便・物流オペレーション 改革部 世羅 元啓氏</p>

<p>第120回 2023年5月24日</p>	<p>MWC2023報告 —最新動向と日本パビリオン展示について—</p>	<p>2023年2月27日から3月2日にスペイン・バルセロナで開催された世界最大級の移動体通信関連のイベント Mobile World Congress (MWC) について、現地で調査を実施した講師、また、日本パビリオン展示を行った日本企業各社より、同イベントの最新の動向と日本パビリオンにおける展示状況などについて報告します。</p> <p>同イベントは、移動体通信に関する通信事業者、通信インフラベンダー、端末機ベンダー、サービス事業者はもちろん、幅広い、周辺、関連の技術、サービス事業者が一堂に会する非常に大規模なイベントで、今年は、COVID-19感染拡大以前に匹敵する参加者により盛大に開催されました。</p> <p>移動体通信ビジネスに限らず幅広い皆様のお役に立つ内容と考えますので、ぜひ、ご参加をご検討下さい。</p>	<p>一般財団法人マルチメディア振興センター ブリュッセル事務所 仲田 陽子氏</p> <p>一般財団法人日本ITU協会 田中 和彦</p> <p>MWC2023日本パビリオン出展各社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社コムワース ・古河電気工業株式会社 ・株式会社イイガ ・日本航空電子工業株式会社 ・日本無線株式会社 ・森田テック株式会社 ・株式会社RevComm ・株式会社toraru ・株式会社ゼウス <p>[ご紹介] 総務省 国際戦略局 国際経済課 北神 裕氏</p>
<p>第121回 2023年6月6日</p>	<p>スーパーシティ実現に向けたスマートドローンの取組みについて</p>	<p>2022年12月の航空法の改正により「有人地帯における補助者なし目視外飛行（レベル4飛行）」が解禁され、目視外飛行による先端的サービスの社会実装が期待されています。このような背景の下、KDDIスマートドローン株式会社はモバイル通信を活用したサービス導入を加速させています。</p> <p>本講演では始めに、KDDIスマートドローンの今までの取組みを紹介します。次に内閣府の「スーパーシティ型国家戦略特区」である茨城県つくば市で実証したPCR検体配送や、自動配送ロボットと連携したフードデリバリー、加えて人とドローンのリスクコミュニケーション策として実装したXRコンテンツ（ドローンの飛行経路可視化）等の受容性について説明します。</p> <p>最後に、自動運転車やドローン、自動配送ロボット等の連携に必要な協調制御プラットフォームの研究を紹介し、今後の展望について紹介します。</p>	<p>KDDIスマートドローン株式会社 プラットフォームサービス開発部 KDDI株式会社 LX基盤推進部 足立 崇氏</p>